

# 腹痛・嘔吐・下痢

## 腹痛

- 痛みが短時間である
- 便が数日出ていない

(緑)

- 激しい痛みが続いている
- 足の付け根や陰のうが腫れている
- 機嫌が悪くミルクを受け付けない
- 繰り返し激しく泣き、血便が出た

(黄)

## 嘔吐(おうと)

- 嘔吐の回数は少なく、水分はとれる
- 吐いた後は吐き気がおさまっている

(緑)

- ミルクや水分をとってもすぐ嘔吐する
- 吐物に血液や胆汁(緑色)が混ざる
- 尿が半日以上出ていない
- 激しい頭痛や腹痛がある
- 強く頭を打った

(黄)

## 下痢

- 水分はとれる
- 下痢の回数は多いが機嫌は良い

(緑)

- 水分を受け付けず、ぐったりしている
- 尿が半日以上出ていない
- 便に血液が大量に混じっている

(黄)



日中に  
かかりつけ医へ



夜間でも  
相談または受診



救急車を呼ぶ

## 腹痛

こどもの腹痛の原因として最も多いものは便秘です。しかし、時には緊急の処置が必要なものもあります。排便により症状が改善した場合は様子を見てよいでしょう。激しい痛みや、高熱がある場合は緊急性が高い可能性があります。

## 嘔吐・下痢

嘔吐や下痢は小児によくみられる症状です。回数が少なく、少しずつ水分を摂取できれば緊急性は高くありません。緑色や黄色の便は異常ではありません。ウイルス性の下痢では、すっぱい臭いがして便が白くなることがあります。熱が出ていても、水分がとれていて尿が出ていれば緊急性は高くありません。尿が長時間出ていない、ぐったりしているなどの症状があれば早めに受診しましょう。

## 水分のとり方

嘔吐した直後は30～60分休ませた後、水分を一口とって少し様子を見ましょう。すぐに大量に飲むと、また吐いてしまいます。少量飲ませて嘔吐しなければ、少しずつ増量しましょう。母乳を飲んでいる場合は、母乳も少しずつ与えてみましょう。脱水状態の改善に有効な経口補水液(OS-1、アクアライトORSなど)が薬局などで市販されています。スポーツドリンクなどに比べ、体内への吸収が早く症状の緩和に効果的です。少量ずつこまめにとるように心がけましょう。吐き気がある時は水分のみの摂取とし、食事はせずに経過を見ましょう。

## 注意すべき病気

似たような症状があれば相談または受診

- **ロタウイルス感染症(乳幼児冬季下痢症)**  
 ……冬季に流行する乳幼児のウイルス感染症。  
 主な症状は発熱、嘔吐、下痢。下痢は白っぽいすっぱいにおいがします。けいれんを起こしたり、水分がとれず脱水状態になることがあります。
- **腸重責**……腸の一部が内側に入りこみ重なりあった状態。  
 乳幼児に多く、5～15分おきに機嫌が悪くなり泣きだします。一度おさまっても再び激しく泣くことをくり返し、嘔吐や血便を伴うことがあります。
- **虫垂炎(盲腸炎)**……右下腹部にある腸の先端部分(虫垂)の炎症。  
 10歳代から30歳代に多く発症しますが、10歳未満でも発症することがあります。痛みは上腹部からだいに右下腹部へと移動します。症状が進行すると発熱、嘔気、嘔吐を伴います。